

2026 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 植木原宗平
(コード番号：9235 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 後 藤 祐 弥
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、AI 駆動開発の実証で開発効率が約 3.8 倍に向上

～連結子会社 SOBA プロジェクトで実証、開発生産性が大幅改善～



売れるネット広告社グループ、 AI駆動開発の実証で開発効率が約3.8倍に向上

～連結子会社SOBAプロジェクトで実証、開発生産性が大幅改善～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：植木原宗平、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）は、連結子会社である株式会社 SOBA プロジェクトにおいて、AI 駆動開発を活用した開発体制の検証を実施し、開発効率の大幅な向上を確認いたしました。

本取り組みは、特定の開発プロジェクト案件を対象に、AI エディターおよび自律型コーディングエージェントを組み合わせた形で実施したものであり、実運用環境における生産性向上の実証テストとして位置づけております。

【従来開発との比較で明確になった生産性向上】

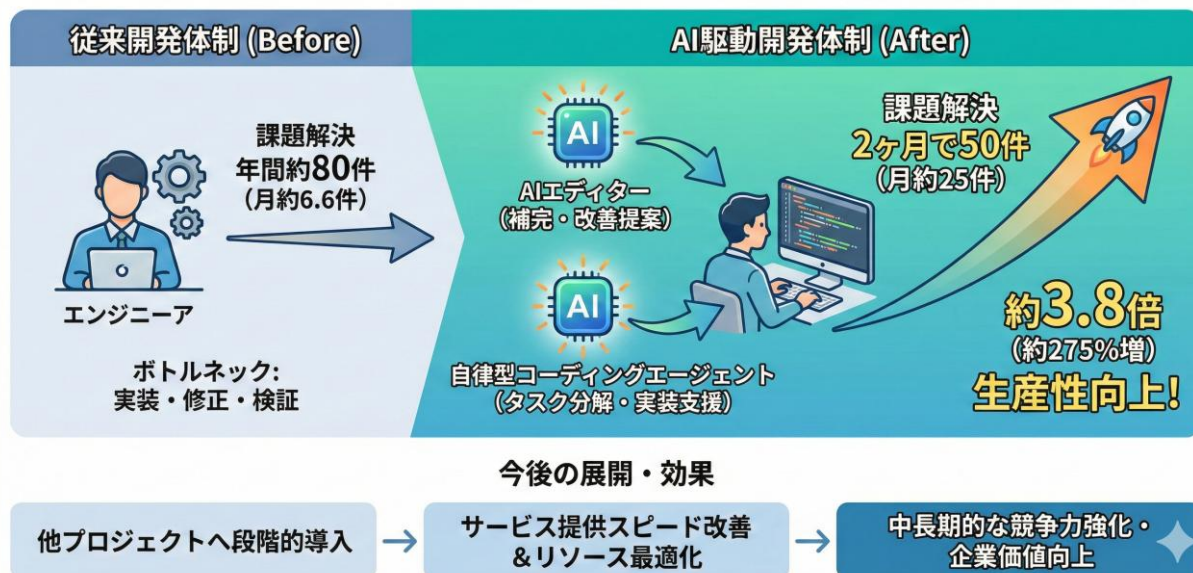
本 AI 駆動開発を導入した SOBA プロジェクトの対象案件では、従来の開発体制においては、課題解決数は年間約 80 件、月換算で約 6.6 件のペースで推移しておりました。一方、2 ヶ月間で 50 件の課題解決を実現し、月換算で約 25 件の処理能力となりました。

これは、従来比で約 3.8 倍、約 275%の生産性向上に相当し、AI を前提とした開発プロセスが、実務レベルにおいても十分に有効であることを示す結果となっております。

【AI エディター×自律型エージェントによる開発体制】

本プロジェクトでは、人間のエンジニアを中心としながら、AI エディターによる即時補完・改善提案と、自律型コーディングエージェントによるタスク分解・実装支援を組み合わせることで、開発スピードと品質の両立を図っております。これにより、従来ボトルネックとなっていた実装・修正・検証工程の効率化が進みました。

売れるネット広告社グループ：AI駆動開発導入による開発効率約3.8倍向上



【今後の展開】

今回の結果を踏まえ、売れるネット広告社グループでは、SOBA プロジェクトに限らず、他の各種プロジェクトへの AI 駆動開発手法の段階的な導入を検討してまいります。開発効率の向上は、サービス提供スピードの改善、人的リソースの最適配分、ならびに中長期的な競争力強化につながるものと考えております。

なお、本件による売れるネット広告社グループの連結業績に与える影響は現時点では軽微と考えておりますが、2026 年 7 月期の連結業績にプラス寄与を見込んでおります。

今後も売れるネット広告社グループは、AI 技術を実務に適用することで、持続的な事業成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

以 上